

平成19年度実施事業 事業評価シート

事業名:	地域自立生活支援事業(介護相談員)	2-16
・運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他)	複数回答可	1
・事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)		2

担当部課	保健福祉部地域包括支援センター	直通電話	72-7017
担当部長	鎌田 英暢	担当課長	田森 正廣
		担当者	浅野 貴雄

1 事業のアウトライン			
(1)事業概要及び交付金額等の積算根拠	介護相談員が高齢者宅や介護施設等を訪問し、相談を受けることにより、より良いサービス利用や地域で安心した生活が送れることを目的とする。		
(2)事業開始年度	平成13年度	(3)事業終了年度	未定
(4)総合計画での事業体系	テーマ等	2 健康であわせに暮らすまち	
	施策項目(大)	(2)高齢者福祉の充実	
	施策項目(小)	自立支援サービスの充実	
	施策コード	20201	

2 事業の内容	
(1)事業の目的 何のために	介護相談員が高齢者宅や介護施設等を訪問し、相談を受けることにより、介護保険サービスが適正に図られ、より良いサービスや生活が送れるようにする。
(2)目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	利用者の疑問や不安の解消及び苦情の未然解決を図るとともに、施設のサービスの質的な向上を図る。
(3)事業の方法 どんな手段を講じるのか	不安を抱える在宅高齢者訪問の他、市内の施設を不定期に訪問し、入所者の要望や施設内での生活状況などの相談を受ける他、施設職員との意見交換を行う。
(4)19年度に改善した事項、 重点的に取り組んだ事項	介護保険施設等への訪問を定期化した。
(5)事業の背景・社会状況・他の類似事業など	
(6)事業の立案や実施における協働の視点	

3 事業に投入した行政資源				
区分	H17	H18	H19	H20予算
(1)直接事業費(千円)	4,751	4,282	2,473	2,808
(2)その他の間接経費(千円)				
(3)従事正職員の人件費(千円)	2,590	2,486	2,691	
総事業費((1)~(3)の合計;千円)	7,341	6,768	5,164	
事務に従事した正職員延べ人数	0.30	0.30	0.30	

4 交付団体の予算・決算					(単位:千円・%)				
区分	H17	H18	H19	H20予算	区分	H17	H18	H19	H20予算
収					支				
入					出				
計(B)	0	0	0	0	計	0	0	0	0
(A/B)									

5 事業活動の結果						(単位:千円・%)			
活動指標名		H17	H18	H19	H20				
介護相談員居宅派遣回数 (介護相談員1名につき月5回)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定				
	実績値	232	120	60					
	達成率	-	-	-					
介護相談員施設等派遣回数 (介護保健施設/年18回、GH/年1回)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定				
	実績値	35	86	102					
	達成率	-	-	-					
	目標値								
	実績値								
	達成率								

6 事業の成果		(単位:千円・%)			
成果指標名		H17	H18	H19	H20
相談受付件数(人)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	253	173	123	
	達成率	-	-	-	
	目標値				
	実績値				
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				

7 事業の観点別評価		担当課長が評価します。	
(1) 必要性		(4) 有効性	
ア 市民ニーズ	1 大きい 2 普通 3 小さい	2	ア 施策との関連 1 密接な関連がある 2 関連がある 3 関連はほとんどない
社会経済情勢の変化に対する市民ニーズはどうか			
イ 市の関与	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	1	イ 成果 1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない
その事業に市が関与する必要があるかどうか			ウ 事業内容 1 極めて妥当 2 一定の妥当性あり 3 妥当性が低い
(2) 効率性			
ア コスト削減	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2	
コスト削減は可能か			
(3) 公平性			
ア 受益者負担	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	1	
さらなる受益者負担は可能か			
(1)～(4)の評価ポイント合計 総合評価の参考にしてください。			
7～11 A or B			
12～15 B or C			
16～21 D or E			
<b>12</b>			

8 課長評価		担当課長が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		介護保険施設等の訪問は、特にサービス利用者と施設のパイプ役を果たし、サービスの適正化、質の向上と利用者の不安や苦情の解決、施設内虐待の抑制等とても重要な役割を果たしている。また、介護保険施設等への訪問を定期化することで、相談業務の充実を図った。	
B	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)		
(2) 今後の方向性・課題		サービスの質の向上と介護保険サービスの適正化など重要な役割を果たしている当該事業は今後も継続する。	
(3) 平成21年度の方向性			
*:担当課長		事業内容	
		現状維持	一部見直し 大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		

↓ ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見

10 部長(市長)評価		課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		介護相談員による施設等訪問業務や相談業務は、介護サービスの適正化や質の向上のほか、利用者の不安や苦情の解決、施設内虐待の抑制に繋がるなど、重要な役割を果たしている。	
B	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)		
(2) 今後の方向性・課題		相談員体制の強化など、今後も介護サービスの適正化と向上を図る。	
(3) 平成21年度の方向性			
:担当部長(もしくは市長)		事業内容	
		現状維持	一部見直し 大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		